

PHOTO PALETTE



9月11～12日、長柄公民館で長柄公民館まつりが行われました。八木節、和太鼓、ダンスなどの舞台発表や作品展示、模擬店など多くの人でにぎわいました。実行委員長の細谷文夫さん(坪谷・22区)は、「舞台発表や作品展示などを見て、自分もやってみたい、サークルに入って活動したいと思ってくれる人が多くなってくれば、地域の輪も広がり、活性化につながると思います」と話していました。



どうして？ 私たちの浴衣姿、似合っているでしょ！



これからも健康で仲良く



9月19日、福祉センターで米寿・金婚記念式典が行われ、米寿を迎えた81人の皆さんと、金婚式を迎えた52組のご夫妻を招待。町から慶祝状などが贈られました。高田寛さん(秋妻・17区)は、「妻と二人でお店をやりながら、苦楽をともに歩んできた50年だと思えます」と話していました。

平和への願いを込めて



9月11日、町立図書館で第27回邑楽町平和展が行われ、約800人が訪れました。戦時中、前橋市や伊勢崎市など群馬県内で空爆の被害に遭った写真などを展示。また、大根めしやすいとん、ころら焼きなどの戦時食を再現、平和への願いを込めた風船飛ばしが行われました。

子どものためにパン作り



9月17日、ヤングプラザで保育付きパンづくり講座が行われました。この日、バターロールとバナナやりんご、レーズンの入ったスコーン作りに挑戦。渡辺みゆきさん(西ノ根宮内中島・24区)は、「初めてパンを作りました。子どもがパンが大好きなので、家で作ってみたいです」と話していました。

町の歴史 連載三百四十七回

細谷清吉(歴史研究家)

町の年代記 49

石打城

石打城は、南北朝時代に足利方の石堂右馬丞が築いたという。邑楽郡誌には、「石打村宇後林にあり、足利時代より石堂右馬丞なるもの此処に館すと伝ふ。今、堀の内と称し廢濠を存す」古城址の研究には、「石打に石堂右馬丞の城址がある。宇後林という所で、東南部は堀の内という。城はかなり広く、東西四〇〇メートル、南北三〇〇

メートル。土層・塚に加えて古墳が分布し、形を捉えるのが困難である」とあります。今の後林から家間にわたる地内にありましたが、この石打城は邑楽郡佐貫庄の北西端に位置し、西は新田、北は足利を望む要所であり、西と北は沼地に囲まれた台地で、南と東は深い濠でたち切っています。本郭から八王子社の辺りには旧高島村の村名となっていました。その低地を埋め立てて、平地になっています。その北方には旧高島村の村名となっていました。その北方には旧高島村の村名となっていました。その北方には旧高島村の村名となっていました。

りまは古井戸があり、北部には「清水池」という清水の湧く池もあったというが、今は

埋められています。城の守護神であり、光明寺の鎮守といわれる八王子社は地元の人々の信仰が厚く、祭礼には相撲興行などで戦前にはにぎわったといわれるが、今は社殿もあらわに、鳥居のわきの崖には写真のように松の大木が東南に高々と枝をのびていますが、今はありません。幹の太さが二メートルもありました。石打城を築いた石堂右馬丞については、資料がありません。

尊卑分脈や清和源氏系図によれば、足利義康の曾孫森氏の四男頼茂が石堂四郎と称して石堂氏の祖となりました。尊卑分脈には石塔氏となっています。その子孫とおもわれる、石打兵部少輔が享徳一四五四年のころ、石打の知行者となっていたことが正木文書

に見られます。それは岩松持国の開所注文に、一つ、上野国、藤河郷、藤河五郎四郎知行分一つ、石打郷、石打兵部少輔、知行分とありますので、この石打兵部がここに居城していたとおもわれます。



八王子社の崖に立っていた松(中世の邑楽町から)